

広報

kouhou tonami

となみ



庄川と散居に広がる健康フラワー都市
— 花香り、水清く、風さわやかなまち 砺波 —

No.9



マリーナフェスティバル

8月号
2005 平成17年

CONTENTS 今月の内容

特集

～砺波と庄川が近づきます!～

市営バス実験運行が始まりました! … 2

議会報告 … 4

イベントレポート … 10

ほっとな話題 … 12

市の花、木、花木、鳥を制定しました! … 14

暮らしの情報・インフォメーション … 15

市民カレンダー … 20

砺波総合病院から … 27

みんなの健康・健康カレンダー … 28

公共事業発注状況 … 30

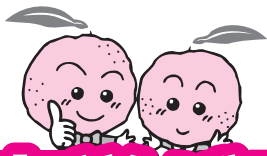
となみの福祉 … 32

体協だより … 36

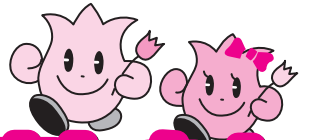
美術館 … 37

四季彩館・図書館 … 38

イベント情報 … 40



庄川と砺波がバスで近づきます!



市営バス実験運行が始まりました!



庄川線はこんなに便利

総合病院をご利用の方の例

第1便ご乗車で、砺波総合病院に8時1分到着! 治療終了後は、第3便11時35分発、または、第4便13時15分発でご帰宅



砺波でお買い物の方のために

太郎丸近辺ショッピングセンター街、砺波駅前商店街をアクセス



高校生の方は

砺波高校には、第1便7時48分着がちょうどです。

みなさまにご利用いただき、ご意見ご感想をお待ちしています。

実験バスについてのお問い合わせは、生活環境課まで。

☎33-1111 内線141

砺波市では、平成16年11月の合併に伴い、庄川と砺波を結び便利でお得な市営バス路線の実験運行を行っています。
この実験運行バス「庄川線」は、庄川地区と砺波地区の相互交流と発展を目指し設定されているものです。また、交通空白地帯(公共交通が全くない地域)の交通便利性を向上させ、高齢者そして、自動車を運転しない方の社会参加、地域の活性化に繋げる目的があります。
実験運行は、市民のみなさんの利用状況を把握し、よりよいサービスへの課題を探ることにあります。実験中は、アンケート調査などを行いますので、ご協力をお願いいたします。
また、実験運行であることから、

各種の試みを実施中です。(シルバーパス、定期券での大幅な割引回数券20枚券、1往復の料金で2往復できる「往復券」の発券等)
また、運行回数は6便設定し、朝は総合病院の受付に間に合うように、昼間帯は高校の帰宅時間に合わせ、また買物の利便性にも配慮して設定しました。そして、市営バス最初の試みである夜便を砺波市役所発20時00分、庄川着20時52分に設定しました。
この実験運行の結果を検証して、ダイヤやバス停の位置等を、改善し市民の皆さんにとって、利用しやすく便利なバス路線の設定を目指します。
実験運行の実施期間は平成17年7月1日〜平成18年1月31日までです。

時刻表

月～土曜運行、日曜・祝日は運休。
土曜は市役所を経由せず、文化会館、
四季彩館を経由。(土曜の時刻表はバス停、市役所などでご確認ください。)

※道路事情などにより、時刻が変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
※平成18年1月1日は運休です。

バス停	月曜～金曜日						
砺波市役所前		9:20	11:30	13:10	15:00	17:50	20:00
総合病院前		:25	:35	:15	:05	:55	:05
砺波 駅 南		:32	:42	:22	:12	18:02	:12
アピタ前		:37	:47	:27	:17	:07	:17
庄川中学校前	7:16						
庄川支所前	:20	10:00	12:10	:50	:40	:30	:40
アピタ前	:50	:30	:40	14:20	16:10	19:00	
砺波 駅 南	:55	:35	:45	:25	:15	:05	
総合病院前	8:01	:41	:51	:31	:21	:11	



お得! お得な料金サービスがいっぱいです。

●例えば庄川から総合病院まで…

通常料金	回数券	シルバーパス
600円	300円 お得	500円 お得
	300円	100円*

※シルバーパス1ヶ月定期で週2回ご利用いただいた場合。

便利! 庄川～砺波を30分で、1日6往復!

月～金 月～金

始発7:16 (庄川中学校前発)

終発20:00 (砺波市役所前発)

● バス停
● 道の片側に設置されているバス停※

※ ●マークのバス停では、道路事情により、道の片側にしか設置してありませんが、バス停前でお待ちくださればバスは停車します。

乗車券

お得な割引サービスいろいろ

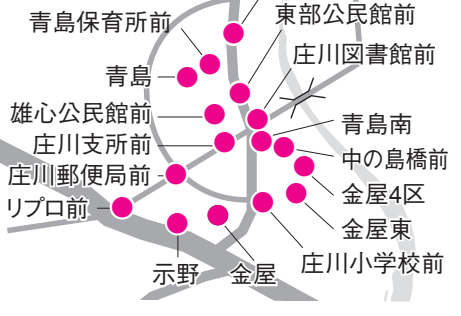
お得な乗車券の種類	お 得 内 容	例
回数券	20枚つづりで10枚分の値段 [半額]	庄川支所から砺波総合病院へ利用する場合 (通常片道600円)
往復券	片道の料金を往復できます [半額]	片道300円で利用可能
通勤定期券	1ヶ月 通常運賃の半額の3割引 [65%引き]	片道210円で利用可能
	3ヶ月 1ヶ月定期運賃の3ヶ月分をさらに5%引き [67%引き]	片道200円で利用可能
通学定期券	1ヶ月 通常運賃の半額の5割引 [75%引き]	片道150円で利用可能
	3ヶ月 1ヶ月定期運賃の3ヶ月分をさらに5%引き [76%引き]	片道140円で利用可能
シルバーパス	1ヶ月 乗り放題で1,600円	1週間に2回利用すれば、1回あたり片道100円
	3ヶ月 乗り放題で3,800円	1週間に2回利用すれば、1回あたり片道79円!

運賃

わかりやすい

バス停	庄川支所前	中野	砺波高校口	アピタ前	砺波 駅 南	総合病院前	砺波市役所前
庄川支所前	100	300	400	500	600	640	
中野	100	200	300	400	400		
砺波高校口	100	200	300	200	200		
アピタ前	100	200	300	200	200		
砺波 駅 南	100	200	300	200	200		
総合病院前	100	200	300	200	200		
砺波市役所前	100	200	300	200	200		

※小学生まで半額。未就学児は無料。



※市営バス(高波、東般若、梅檀山線)、加越能鉄道の路線バスには適用されません。
※1ヶ月定期は平成18年1月1日以降、3ヶ月定期は平成17年11月1日以降はお買い求め頂けません。



6月定例会 議会報告

市政のここが聞きたい!!

6月定例会は6月13日から6月28日にかけて、16日間の会期で行われました。

6月20日、21日の両日、代表質問は池田守正議員、一般質問は、山田幸夫、寺井武彦、飯田修平、井上五三男、稲垣 修、福島洋一、瘡師富士夫、岡本晃一、村岡修一、今藤久之、嶋村信之、大楠匡子、前田喜代志の各議員の順に行われました。

その質疑・答弁の中から掲載いたします。

6月定例会の動き

- 13日 **本会議**
開会、会期の決定
市長提案理由説明
議案説明
- 20日 **本会議**
代表質問、一般質問
- 21日 **本会議**
一般質問、質疑
議案・請願の委員会付託
- 22日 **産業建設常任委員会**
- 23日 **民生文教常任委員会**
- 24日 **総務病院常任委員会**
- 28日 **本会議**
委員長報告、質疑、討論、
議案・請願の採決
議員提出議案の提案・採決
閉会

代表質問

合併の効果は

池田議員 合併による行政改革・事務改善でどのような効果が生まれたか。

安念市長 各行政委員会の統合、特別職及び議会議員数の減により、およそ2億2千5百万円の削減となったが、一方ではサービスの拡大により4千8百万円の増となった。

市民負担の軽減としては、旧庄川町の固定資産の税率(1.55)を旧砺波市の税率(1.45)とし、また、保育料の各階層

ごとの額を旧市町の低い方に改め、さらに法人市民税の負担軽減により、総額で約5千万円の軽減となった。

また、法人市民税の一本化や各種施設の相互乗り入れによるサービスの向上があると考えている。

行政経費の節減を図るとともに、市民負担の軽減に意を用いて進めていきたいと考えている。

池田議員 今後の行政改革・事務改善の調査研究の予定について

安念市長 健康福祉の問題等についても取り組んでいきたいと考えている。

主なものとして、保育所・幼稚園の保育時間の延長をした。南部小学校下において放課後児童教室を開設し、子育て支援を充実させたい。また、庄川区域と砺波区域を結ぶ市営バス路線について提案している。

一方、紙とプラスチックの分別収集や経常的経費の3%削減、職員の管理職手当ての削減を行い、行政経費の削減に努めている。

今後、行政改革推進委員会を早急に設置し、市民サービスの向上、組織人員の見直し、事務事業の見直しなどそれぞれ専門的に対処していきたい。

総合計画の策定は

池田議員 計画策定の視点・基本方針について

安念市長 合併の議論によりできた「新市まらぶくり計画」を基本として進めていきたい。「庄川と散居に広がる健康フラワー都市」を将来像とし、5つの基本方針を踏まえて、

市民の皆さんがお互いに健康で支え合い、安心して暮らせる町を第一目標として施策を構築していきたい。

今回策定する基本構想、基本計画及び実施計画をもって総合計画とし、基本構想の定める基本理念の実現に向かって対処しなければならぬ。

総合計画において、事業の重点化、めり張りのきいた事業展開を推進するよう要望もあり、事業の各分野においてポイントを示すべきであると考えている。実施計画、特に重点課題においては、より実効性のあるものを予算との整合性を図りながら、示していきたい。

池田議員 策定スケジュールと市民協働による手法について

安念市長 庁内で策定委員会を設置して情報の収集にあたっており、7月には「総合計画審議会」を設置し、「まちづくり研究会」も立ち上げた。

来年3月を目途として、種々のデータ収集や分析により素案づくりをし、7、8月までに協議調整を行う。その後「総

合計画審議会」へ諮問し、その答申を受けて、明年9月定例会で基本構想を提案したいと考えている。

市民との協働の手法については、各地区、各団体から委員の推薦をいただき、まちづくり研究会を立ち上げたい。

また、研究会、振興会や各種団体との懇談会、出前講座の開催、中学生の作文募集等を実施して、それらの要望に応えるという形で進めていきたい。

指定管理者制度は

池田議員 導入にあたっての基本的な考え方について

安念市長 従来は公共団体、あるいは公共的団体、政令で定める出資法人に限定されていたが、法改正により、民間の能力、ノウハウを活用して住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的としたもので、従来の公共施設等の管理対象に民間を含めるものである。

現在の施設には設置目的があり、その目的に従って、効果的、効率的、安定的に達成することを考えていかなければ

ならない。現在直営の施設を含め、指定管理者制度を導入するか直営でいくのかがいいのか、その選択を迫られている。

導入時期については平成18年4月から段階的に導入していきたい。導入にあたっては個々の施設の設置条例、改正案を9月議会でご審議いただき、その後指定管理者の募集、選定を行い、12月議会定例会には指定管理者の指定の議案を提出したいと考えている。

池田議員 導入にあたっての基本的な考え方について

少子高齢化対策は



池田議員 少子高齢化対策の基本的な考え方について

安念市長 ここ数年の砺波市の出生者数は死亡者数を上回り、全国的傾向と違って急激な少子化は見られない。しかし、平成7年の国勢調査から、高齢者人口が年少者人口を上回ってきており、将来が危ぶまれる。

女性の晩婚化、未婚化あるいは子育て環境の未整備や経済的負担もあるようである。

また、「ニート」と言われる無職の青少年、「フリーター」と言われる定職につかない若者があふれつつあり、雇用政策については国の制度ではあるが、地方においても考えていかなければならない。

砺波市では「砺波市次世代育成支援行動計画」を策定しており、これに基づき一歩一歩展開していくことが必要である。行政として家庭での子育てを支援するとともに、各種保育サービスの充実を図り、一時休暇、労働環境の整備を各企業等に求めていきたい。

一般質問

庄川地区の人口対策は

山田議員 庄川地区の人口問題について

安念市長 人口減の対策として、特に子育て環境等について、保育料の値下げを行い、また、次世代育成支援行動計画でソフト事業を行っている。このほか、地場産業の育成、滞在型観光地域として交流人口の増加を図り、東海北陸自動車道の完成も踏まえて、企

池田議員 高齢者を社会全体で支える体制づくりと施策推進の基本姿勢について

安念市長 高齢者対策については自らこなす「自助」、と「公助」があり、今後は「自助」について、市町村がサポートしていく体制づくりが大切である。

医療と保健と福祉に広く文化やレクリエーション活動を取り入るなど横断的な取り組みが大切であると考えている。



業誘致を進めることも大切である。



庄川合口ダム